

第4章 子ども・子育て支援事業に係る量の見込み算出資料

資料2

※算出値：国のワークシートにより計算した数値 予測値：実績の利用割合（対人口）による予測 計画値：本計画における量の見込み採用数値

区分	単位	実績				量の見込(各年度)					国WS・独自推計の内容(事務局案)					
		H29年度	H30年度	H31年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度						
教育・保育	1号認定 (3歳以上教育ニーズ)	人	人口	1,797	1,732	1,638	算出値	745	696	680	644	633	【国WSの算出要領】家庭類型がタイプC、D、E、Fの3歳以上で、現在、「幼稚園」または「認定こども園」を利用したいと回答した人。 【独自推計の方法】国WSの算出値は実績を下回る。利用割合はH31に下降したが、それ以前は同水準の0.66であったため、過去最大のH29利用割合(0.660)を将来人口に乗じて算定。			
		実績	1,186	1,142	1,052	予測値	1,020	954	931	883	868					
		割合	0.660	0.659	0.642	計画値	1,030	963	940	891	876					
	2号認定	教育ニーズ (3歳以上教育)	人	人口	1,797	1,732	1,638	算出値	178	167	163	154		151	【国WSの算出要領】家庭類型がタイプA、B、C、Eの3歳以上で、現在、「幼稚園」を利用している人。 【独自推計の方法】2号教育のみの設定の実績値なし。2号認定は全体で取り扱う。	
			実績	0	0	0	予測値	0	0	0	0	0				
			割合	0.00	0.00	0.00	計画値	0	0	0	0	0				
		保育ニーズ (3歳以上保育)	人	人口	1,797	1,732	1,638	算出値	609	570	556	527		518		【国WSの算出要領】家庭類型がタイプA、B、C、Eの3歳以上で、現在、「幼稚園」を利用していない人で、今後、「幼稚園」、「認定こども園」、「保育所」等を利用したいと回答した人。 【独自推計の方法】利用実績が継続的に上昇している。最新で把握できた申込状況(令和2年度分)の対人口の割合(0.366)を将来人口に乗じて算定。さらに30代女性のH22→27就業率が6.9%上昇していることから、同程度の伸びが今後5年間発生すると過程してその平均1.38を各年度分に乗じる。ニーズ調査:就業希望時期は未子年齢3-5歳のみのため、2号保育にのみこれを適用。
			実績	596	588	578	予測値	532	498	486	461	453				
			割合	0.332	0.339	0.353	計画値	579	549	543	521	519				
小計	人	人口	3,594	3,464	3,276	算出値	787	736	719	681	670	国WSでは2号につき「教育ニーズ」「保育ニーズ」別に算出されるが、「教育ニーズ」の利用実績はないため、「保育ニーズ」を2号全体として見込む。 【独自推計の方法】実績をベースに独自の算定を行う。ただし、実績の伸びがみられることから、3年間の平均ではなく、直近かつ最大のH30年度利用割合(0.698)を将来人口に乗じて見込む。				
	実績	596	588	578	予測値	532	498	486	461	453						
	割合	0.17	0.17	0.18	計画値	579	549	543	521	519						
3号認定	0歳	人	人口	455	412	413	算出値	207	201	193	186		181	国WSでは3号につき「0歳」「1-2歳」別に算定される。 【国WSの算出要領】家庭類型がタイプA、B、C、Eの0歳で、今後、「認定こども園」、「保育所」等を利用したいと回答した人。 【独自推計の方法】国WSの算定値は実績を大きく上回る。0歳→実績の利用割合に上下動がある。最新で把握できた申込状況(令和2年度分)の対人口の割合(0.143)を将来人口に乗じて算定。 【参考】ニーズ調査問34-2で、母親の育休取得希望で1歳未満は3.5%と低い。		
		実績	58	46	53	予測値	49	47	45	44	43					
		割合	0.127	0.112	0.128	計画値	57	55	53	51	50					
	1・2歳	人	人口	999	1,006	968	算出値	422	419	403	390		376		【国WSの算出要領】家庭類型がタイプA、B、C、Eの1・2歳で、今後、「認定こども園」、「保育所」等を利用したいと回答した人。 【独自推計の方法】国WSの算定値は実績を上回る。利用実績に上下動がある。最新で把握できた申込状況(令和2年度分)の対人口の割合(0.391)を将来人口に乗じて算定。 【参考】ニーズ調査問34-2で、母親の育休取得希望で1歳6か月未満は29.7%、2歳未満は17.7%、合計47.4%が2歳未満を希望。	
		実績	339	371	363	予測値	328	326	314	303	292					
		割合	0.339	0.369	0.375	計画値	355	353	340	328	316					
小計	人	人口	1,454	1,418	1,381	算出値	629	620	597	576	557					
	実績	397	417	416	予測値	377	373	359	347	335						
	割合	0.27	0.29	0.30	計画値	412	408	393	379	366						

区分	単位	実績				量の見込(各年度)					国WS・独自推計の内容(事務局案)	
		H28年度	H29年度	H30年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
(1)延長保育事業	人(年延べ)	人口	3,349	3,251	3,150	算出値	1,403	1,345	1,304	1,247	1,216	【国WSの算出要領】家庭類型がタイプA、B、C、Eの0~5歳で、今後、「認定こども園」、「保育所」等を利用したいと回答した人。かつ、利用希望する終了時間が「18時以降」の人。(0~就学前家庭のみ)。国WSでは「人」単位で算出される。 【独自推計の方法】過去の実績割合は上下動がある。割合の平均(0.272)を将来人口に乗じて見込む(年延べ)。さらに、調査で認可園利用者の平日19時台以降までの利用意向が17.4%であることから潜在ニーズとして予測値に1.174を乗じる。
実績	907	897	849	予測値	780	747	725	693	676			
割合	0.271	0.276	0.270	計画値	915	877	851	813	793			

区分	単位		実績				量の見込(各年度)					国WS・独自推計の内容(事務局案)	
			H29年度	H30年度	H31年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
(2)放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	低学年 1～3年生	人口	2,110	2,107	2,038	算出値	726	688	639	608	569	【国WSの算出要領】家庭類型がタイプA、B、C、Eの5歳児で、就学後、低学年のうち、高学年になってから、放課後「放課後児童クラブ」で過ごさせたいと回答した人。(5歳児以上家庭のみ) →国ワークシートでは低学年、高学年の区分で算出される。改訂された国の「計画書への掲載イメージ」に沿い、学年ごとの見込みを設定する。 ▼ 【独自推計の方法】各学年の登録者数実績をベースに、利用割合を将来人口に乘じて算定する。 学年ごとに利用の割合に上下動がみられるが、最新で把握できた登録申し込み状況(令和2年度分)までを勘案して今後の需要を見込むこととする。 令和2年度分までの申込み状況を見ると、1年～4年生までは伸びる傾向にあるため、最新3年間(H30～R2)の利用割合の最大値を将来人口に乘じて見込む。 5年～6年生は、最新の申込みでもほぼ横ばいのため、最新3年間(H30～R2)の割合の平均値を将来人口に乘じて見込む。 【参考】1年生について、平成30年の保育園入所者5歳(待機等含む)は194人、平成31年の小1児童利用は176人。5歳→小1で下降しているため、実績推計以上の上乗せは行わない。 4年生以上について、調査で母親就労希望の未子年齢が9歳以上で66.7%。しかし小中保護者調査で小3時の利用28.0%に対し小5時点では6.7%との回答は実績とも合致する。小5の不利用理由の最多は「利用する必要がない」54.2%。子どもだけでも大丈夫29.4%、習い事をしている20.6%。習い事は毎日ではないとしても、必要性を感じていない実態は高学年の利用低下とも合致している。	
		実績	438	468	488	予測値	413	391	364	346	324		
		割合	0.21	0.22	0.24	計画値							
	高学年 4～6年生	人口	2,235	2,184	2,124	算出値	484	467	449	426	404		
		実績	132	135	145	予測値	133	128	123	117	111		
		割合	0.06	0.06	0.07	計画値							
	計	人口	4,345	4,291	4,162	算出値	1,210	1,155	1,088	1,034	973		
		実績	570	603	633	予測値	560	535	507	481	454		
		割合	0.13	0.14	0.15	計画値							
	▼学年ごとの実績(登録者数:各年4月1日)			H29年度	H30年度	H31年度	▼事務局案						
							令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	1年生	人	実績	178	198	176	164	169	152	159	138		
2年生	人	実績	131	157	176	164	164	151	136	142			
3年生	人	実績	129	113	136	145	142	136	126	113			
4年生	人	実績	70	78	74	93	87	83	80	74			
5年生	人	実績	36	37	51	50	46	43	41	40			
6年生	人	実績	26	20	20	23	21	21	19	18			
計	人	実績	570	603	633	639	629	586	561	525			

区分	単位		実績				量の見込(各年度)					国WS・独自推計の内容(事務局案)
			H28年度	H29年度	H30年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
(3)子育て短期支援事業 (ショートステイ)	人日	人口	3,349	3,251	3,150	算出値	0	0	0	0	0	【国WSの算出要領】すべての家庭類型の0～5歳で、泊りがけの預かりにおいて、「短期入所生活援助事業」を利用した人、「仕方なく子どもだけで留守番させた」と回答した人。国WSでは実績に対し過大に算出されている。 【独自推計の方法】需要の発生が予測しにくい事業ではあるが、実績を発生率と捉え、実績をベースに独自の算定を行う。ただし、H30実績がないことから、3年間の平均ではなく、H28～29の平均割合(0.008)を将来人口に乘じて見込む。
		実績	5	17	0	予測値	6	6	6	6	6	
		割合	0.001	0.005	0.000	計画値	10	9	9	9	8	

区分	単位		実績				量の見込(各年度)					国WS・独自推計の内容(事務局案)
			H28年度	H29年度	H30年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
(4)地域子育て支援拠点事業	人回/年	人口	1,494	1,454	1,418	算出値	32,858	32,380	31,172	30,090	29,084	【国WSの算出要領】すべての家庭類型の0～2歳で、現在、「地域子育て支援拠点事業」を利用している人、「利用していないが、今後利用したい」と回答した人。 【独自推計の方針】国WSの算出値は実績と乖離しており、実績をベースに見込む。過去の利用割合は継続的に増加しているため、直近最大値(13,908)を将来人口に乘じて算出する。
		実績	13,747	18,820	19,722	予測値	15,695	15,467	14,890	14,373	13,893	
		割合	9.201	12.944	13.908	計画値	18,164	17,900	17,232	16,634	16,078	

区分	単位		実績				量の見込(各年度)					国WS・独自推計の内容(事務局案)	
			H28年度	H29年度	H30年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
(5)一時預かり事業 (幼稚園型)	1号認定 による利用	人日	人口	1,855	1,797	1,732	算出値	10,174	9,515	9,287	8,804	8,654	【国WSの算出要領】国のワークシートでは1号認定・2号認定に分けて算出される。家庭類型がタイプC、D、E、Fの3歳以上で、ア・今後、「幼稚園」または「認定こども園」を利用したいと回答した人で、かつ、不定期事業を「利用したい」と回答した人。イ・現在、「幼稚園」を利用している人で、現在、一時預かり等を利用している人。 【独自推計の方針】国WSの算出値は実態と乖離しており、実績をベースに見込む。過去の利用割合は上下動があるため3年間の平均(0.836)を将来人口に乗じて算出する。 一時預かりは無償化の影響が考えられる。ニーズ調査：現在利用は一時保育5.3%、幼稚園の預かり保育14.5%(計19.8%)。利用希望では52.9%が利用したいとしている。その差分33.1%を予測値に乗じる。
		実績	0	0	0	予測値	0	0	0	0	0		
		割合	0.00	0.00	0.00	計画値							
	2号認定 による利用	人日	人口	1,855	1,797	1,732	算出値	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	予測値	0	0	0	0	0		
		割合	0.00	0.00	0.00	計画値							
	計	人日	人口	1,855	1,797	1,732	算出値	10,174	9,515	9,287	8,804	8,654	
		実績	0	0	0	予測値	0	0	0	0	0		
		割合	0.00	0.00	0.00	計画値	0	0	0	0	0		
(5)一時預かり事業 2期の一時的預かりは、公立保育園と一時預かり事業を統合	人日	人口	3,349	3,251	3,150	算出値	23,093	22,358	21,621	20,745	20,162		
	実績	2,598	3,145	2,411	予測値	2,396	2,296	2,227	2,129	2,076			
	割合	0.78	0.97	0.77	計画値	3,190	3,056	2,964	2,834	2,763			

区分	単位		実績				量の見込(各年度)					国WS・独自推計の内容(事務局案)
			H28年度	H29年度	H30年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
(6)病児・病後児保育事業	人日	人口	3,349	3,251	3,150	算出値	3,329	3,190	3,094	2,958	2,884	【国WSの算出要領】家庭類型がタイプA、B、C、Eの0～5歳児で、子どもが病気やケガにより、「母親または父親が休んだ人」のうち、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した人及び「病児・病後児保育施設等」、「ファミリー・サポート・センター」を利用した人、「仕方なく子どもだけで留守番させた」と回答した人。 【独自推計の方針】国WSの算出値は実態と乖離しており、需要発生が予測しにくい事業であるが、過去の実績を発生割合と捉え予測する。ただし、平成29年度から利用実績が大きくなっていることから(理由：?)H29-30の割合平均(0.080)を0～11歳児の推計人口に乗じて見込む。
		実績	7	258	256	予測値	155	149	144	138	135	
		割合	0.002	0.079	0.081	計画値	230	221	214	204	199	

区分	単位		実績				量の見込(各年度)					国WS・独自推計の内容(事務局案)	
			H28年度	H29年度	H30年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
(7)子育て援助 活動支援事業 (ファミリー・サ ポート・セン ター事業) (就学児)	未就学児	人日/年	人口	3,349	3,251	3,150	算出値	-	-	-	-	-	【国WSでは未就学は算出されない】 ⇒未就学のファミリー・サポート・センター実績がある場合、一時預かりの幼稚園型以外の受け皿に。 【国WSの算出要領】すべての家庭類型の5歳児で、就学後の放課後、「ファミリー・サポート・センター」を利用したいと回答した人。国WS算出では週当たり人日となるため左記算出値は52倍とするが、基のニーズ調査での回答が算定可能な数値に足りないため算出されていない。 【独自推計の方針】実績をベースに見込む。過去の利用割合の平均(0.046)を将来人口に乗じて算出する。 【国WSの算出要領】すべての家庭類型の5歳児で、就学後、高学年になってから、放課後、「ファミリー・サポート・センター」を利用したいと回答した人。国WS算出では週当たり人日となるため左記算出値は52倍とするが、ニーズ調査での利用希望回答が0.0のため算出されていない。 【独自推計の方針】実績をベースに見込む。過去の利用割合に上下動があるが直近2年の利用は伸びているため直近最大(0.279)を将来人口に乗じて算出する。
		実績				予測値	0	0	0	0	0		
		割合	0.00	0.00	0.00	計画値							
	就学児	人日/年	人口	4,345	4,291	4,162	算出値	0	0	0	0	0	
		実績				予測値	0	0	0	0	0		
		割合	0.00	0.00	0.00	計画値							
	全体(就学児)	人日/年	人口	4,345	4,291	4,162	算出値	0	0	0	0	0	
		実績	1,071	915	1,162	予測値	976	934	884	839	791		
		割合	0.246	0.213	0.279	計画値	1,106	1,058	1,002	951	896		

区分	単位		実績				量の見込(各年度)					国WS・独自推計の内容(事務局案)
			H28年度	H29年度	H30年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
(8)妊婦健康診査事業	(延受人 数)	人口	437	455	412	算出値	397	384	370	357	347	【国のワークシートでは算出されない】 【独自推計の方針】H28-30の実績(0歳児の人口に対する延受診回数)の平均は(11.598)だが、今後も受診を奨励することとして過去最大のH30の値(12.313)を0歳児の将来人口推計値に乗じて算出する。なお、母数とする0歳児の児童人口は当該年の0歳児人口ではなく翌年の0歳児人口とする。
		実績	5,032	4,989	5,073	予測値	4,604	4,453	4,291	4,140	4,024	
		割合	11.515	10.965	12.313	計画値	4,728	4,556	4,396	4,273	4,162	

区分	単位		実績				量の見込(各年度)					国WS・独自推計の内容(事務局案)
			H28年度	H29年度	H30年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
(9)乳児家庭全戸訪問事業	人	実績	434	406	414	計画値	397	384	370	357	347	【国WSでは算出されない】 【独自推計の方針】国の考え方に基づきニーズ調査結果によらず設定する。全戸訪問を目標とする事業であることから、該当年度の0歳児推計人口を計画値とする。

区分	単位		実績				量の見込(各年度)					国WS・独自推計の内容(事務局案)
			H28年度	H29年度	H30年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
(10)養育支援訪問事業	人	人口	7,694	7,542	7,312	算出値						【国WSでは算出されない】 【独自推計の方針】需要発生が予測しにくい事業であるが、過去3か年の実績を発生割合と捉え、その平均(0.002)を0～11歳児の推計人口に乗じて見込む。
		実績	18	18	18	予測値	16	16	15	14	14	
		割合	0.002	0.002	0.002	計画値	16	16	15	14	14	

区分	単位		実績				量の見込(各年度)					国WS・独自推計の内容(事務局案)
			H28年度	H29年度	H30年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
(11)利用者支援事業	か所		4	4	4	計画値(基本型・特定型)	3	3	3	3	3	【国のワークシートでは算出されない】 「基本型」「母子保健型」の設置数を分けて計画に記載。
						計画値(母子保健型)	1	1	1	1	1	